

2022年度 臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	歯内療法学講座
主任教授	古澤成博
プログラム責任者名 (プログラムの管理・運営)	古澤成博
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	①日本歯科保存学会 認定医取得のために必要な臨床例、臨床手技 ②日本歯内療法学学会 認定医取得のために必要な臨床例、臨床手技 ③日本顕微鏡歯科学会 認定医取得のために必要な臨床例、臨床手技
研修期間 (入学時期)	2022.4月～ 2023.3月 (1年間)
受入れ人数 (総数)	5名程度
指導医	古澤成博, 藤井理絵, 山田雅司, 佐古 亮, 田宮資己
修了の認定要件	年単位での研修終了、認定医取得に必要な単位の取得
プログラムの目的	
日本歯科保存学会、日本歯内療法学学会、日本顕微鏡歯科学会の認定医取得に必要な、専門的な知識、技能、態度の育成に関わる研修を行うことを目的とする。	
ユニット	
歯内療法学講座 (診療科は保存科) の臨床専門専修科プログラム 専修科入学時に選択	
一般目標 (GIO)	
① 日本歯科保存学会認定資格を取得するために、主に歯内療法学に関する知識、技能を修得する。 ② 日本歯内療法学学会認定資格を取得するために、歯内療法学に関する知識、技能を修得する。 ③ 日本顕微鏡歯科学会認定資格を取得するために、顕微鏡を使用した歯内療法に関する知識、技能を修得する。	
行動目標 (SBOs)	
保存治療系認定医資格取得に必要な要件を満たす。 歯内療法認定医資格取得に必要な要件を満たす。	
方略 (LS)	
研修プログラム (臨床講義・ハンズオンセミナー)、臨床	
評価 (EV)	
観察記録・形成的評価、総括的評価 (資格試験の模擬演習)	
プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準	
日本歯科保存学会：学会会員歴6年以上、論文投稿、学会発表、研修単位の取得、口頭試問合格 日本歯内療法学学会：会員歴5年以上、論文投稿、学術発表、研修単位の取得、症例提示 (5例) と口頭試問合格 日本顕微鏡歯科学会：会員歴3年以上、学会発表、症例提示合格	
問合せ先	教授・古澤成博 (mfurusaw@tdc.ac.jp)